

Noto PLUS

9

広報のと 第175号

令和元年9月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0049 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9番地1

☎0768-11000(地)
能登町 URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp



その六 のよちよちの 歴史と文化のトピックス

■ 夏の上杉軍侵攻と末次城址

■ 夏の上杉軍侵攻と末次城址
■ ときは群雄割拠の戦国時代、能登は畠山氏という大名（行政・警察・軍事権を持つ職）によって治められていました。しかし、天正四・五年（1576・77）、越中の上杉謙信による二度の攻撃で居城の七尾城は陥落。能登畠山氏は滅亡してしまいました。

このとき、能登各地ではいくつもの合戦が繰り広げられたとされ、町内では松波城、棚木城（宇出津）などで戦闘があったとされています。そして、九里川尻川の中流右岸に位置する町指定史跡「末次城址」もその一つです。国道249号線と川が並走している場所から南東側丘陵にあり、案内版なども不動寺公民館活動の一環で設置されています。伝承では城主末次氏が地元住民などと団結して上杉軍と戦い、落城し



末次城址 標高50mほどの丘陵先端部が城跡とされ、本丸、二ノ丸、三ノ丸などといわれる曲輪くるわ、平坦地が各所に残されている。別名をセイツギの城、背継城、行延城ともいう。築城された時期は定かではなく、南北朝期とする説もあるが根拠はない。珠洲焼などが出土していることから戦国時代に遡ることはできるようである。

たとされています。上杉軍による二度目の能登侵攻は五ノ九月頃だったため、暑い最中だったことでしょう。城の周辺には、上杉軍が陣取ったという「ジンナミ（ゼンナミ）」、城主一族などが隠れ潜んだという「コモリヤチ」などの地名が伝えられています。実際には上杉軍と地元の人たちとの戦闘があったのかはわかりません。

☎町教育委員会事務局 ☎(72) 2509

2019年10月1日、消費税・地方消費税の税率は10%へ。
※10%のうち2.2%は地方消費税です。

ポイント1 税率上げは社会保障制度を次世代に引き継ぎ、みんなが安心できる社会にするために必要です。
みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を、次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の上げが必要です。

ポイント2 引上げ分は、すべての世代を対象とする社会保障のために使われます。
引上げ分は、消費税・地方消費税とともに、例えば、①待機児童の解消、②3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化、③真に支援が必要な学生の高等教育（大学など）の無償化、④介護職員の処遇改善、⑤所得の低い高齢者の介護保険料の軽減、⑥所得の低い年金受給者への給付金の支給などに使われます。

ポイント3 家計と景気、両方の視点から対策を実施します。
飲食料品（お酒・外食を除く）と新聞（定期購読契約、週2回以上発行）に係る税率を8%に据え置きます（軽減税率制度）。このほか、家計や景気への影響を緩和するための各種対策を実施します。

知っていますか、地方消費税
一般に「消費税」と言うのは、消費税（国税）と地方消費税（地方税）を合計したものです。地方消費税収は、地方自治体の貴重な財源として、住民の皆様への身近な行政に生かされています。

政府広報 消費税 検索

復活 宇出津灯りフェスティバル



昨年度は残念ながら天候不良のため、開催できなかった、復活「宇出津灯りフェスティバル」。4団体が展示、町商工会と宇出津公民館が取組みをサポートします。宇出津歩行者天国と同時開催。心暖まる「灯り」作品を是非ご覧ください。

日時 9月8日⑩ 17:30点灯（21:00頃まで）
会場 ○いやさか広場：鳳遊海、興能信用金庫
○宇出津小学校グラウンド：宇出津小学校PTA
○音羽町地内：音羽町内会

☎宇出津公民館 ☎62-3458



「広報のと」9月号の印刷費は一部当たり31円です。

